

山口市不燃物中間処理センタービデオテープ等処理業務仕様書

(目的)

第1条 本仕様書は、山口市不燃物中間処理センター(以下「本施設」という。)に搬入されたビデオテープ、カセットテープ等の磁気テープ類(以下これらを「ビデオテープ等」という。)の資源化処理(以下「業務」という。)を委託することについて必要な事項を定めるものとする。

(業務の概要)

第2条 業務の概要は、次のとおりとする。

(1) 業務名称

山口市不燃物中間処理センタービデオテープ等処理業務

(2) 業務期間

契約締結日の翌日から令和9年3月31日まで

(3) 業務内容

ビデオテープ等を、業務の委託を受けた者(以下「受注者」という。)が所有する施設(以下「処理施設」という。)において適切に資源化処理する。

なお、ビデオテープ等の処理施設への搬入は、山口市不燃物中間処理センタービデオテープ等運搬業務の受託業者が行う。

(処理見込み量)

第3条 ビデオテープ等の処理見込み量は、年間22,000kg程度とする。

なお、この引渡し量は過去の実績を基に推計した推量であり、処理量を保証するものではない。

(契約方法)

第4条 契約方法は、ビデオテープ等1キログラム当たりの単価契約とする。

(計量)

第5条 業務の履行にあたり使用する計量器は、本施設の計量器とする。

なお、受注者の処理施設の計量器においても確認を行い、計量報告及び処理量は本施設の計量票に基づき作成するものとする。

(委託料の支払)

第6条 委託料の額は、ビデオテープ等の処理量に委託料単価を乗じて得た額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)とする。

2 受注者は、毎月ごとに集計した処理証明書を添付して、遅滞なく委託料支払請求書(以下「支払請求書」という。)を山口市(以下「発注者」という。)に提出するものとする。

3 発注者は、前項の規定により受注者の提出する適法な支払請求書を受理したときは、当該請求書を受理した日から30日以内に委託料を受注者に支払うものとする。

(搬入方法)

第7条 ビデオテープ等の処理施設への搬入は、フレコンバック(幅1,100mm×高さ1,080mm程度)に封入して行うものとする。なお、フレコンバックは、受注者が用意するものとする。

(関係法令等の遵守)

第8条 受注者は、業務の履行にあたっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)その他関係法令等を遵守しなければならない。

(業務の実施日時の決定)

第9条 業務の実施日時は、その都度発注者又は山口市一般廃棄物処理等業務の受託業者と受注者が調整して決定するものとする。

(事故防止)

第10条 受注者は、業務の履行にあたっては、事故防止に努めなければならない。なお、万が一事故が発生したときは、受注者の責任において誠意をもってこれに対応しなければならない。

(損害賠償)

第11条 受注者は、業務の履行において受注者の責めに帰すべき理由により発注者又は第三者に損害を与えたときは、これを賠償しなければならない。

(再委託の禁止)

第12条 業務の再委託は、原則として禁止する。

(疑義の協議)

第13条 受注者は、業務の履行にあたり本仕様書の内容に疑義が生じたときは、発注者と協議の上、これを解決するものとする。

(その他)

第14条 前各条に定めるもののほか、業務の履行に関し必要な事項は、発注者と受注者が協議の上、決定するものとする。